

日本の气象 ～ 寒风 ～

寒风是在日本周边,从晚秋到初冬的季节里,在西高东低的冬季气压形成后,沿着等压线吹来的干燥北风。最大风速为8米/秒以上的,就被认定为“寒风”。树叶被吹落,树枝也成了枯枝的“寒风”,所以日语里称作“木枯”,也就是我们说的“寒风”。但是,是否和这个有关系也不确定,因为用“木枯”表示以外,也可写成“凜”。

历年的第一次寒风被称为“寒风1号”,这种说法最初见诸1973年的报纸。“寒风1号”是秋季过渡到冬季的标准之一,作为表明冬季到来的季节现象,尔今,它和人们的生活息息相关。“寒风1号”由关东地区的气象厅、近畿地区的大阪管区气象台发布,其他地方即使有寒风吹来,也不公布“寒风1号”。

日本の气象 ～ 『木枯らし』 ～

木枯らしは、日本付近で晩秋から初冬の間、西高東低の冬型の気圧配置になった時に、等圧線に沿って吹く乾燥した北寄りの風の事です。最大風速が毎秒8メートル以上となって初めて木枯らしと認定されることとなりますが、木の葉を吹き散らし、枯れ木のようにしてしまうことから木枯らしと呼ばれています。また、これに関係しているかは定かではありませんが、木枯らしは「凜こがらし」とも表記されます。

特に、その年で一番初めに吹く木枯らしを「木枯らし1号」といいますが、この呼び方は新聞では1973年に初めて登場しました。「木枯らし1号」は、秋から冬へと移るひとつの基準となっており、冬の到来を告げる季節現象として、今では大変身近なものとなっています。「木枯らし1号」は、関東地方については気象庁が、近畿地方については大阪管区气象台が発表していますが、ほかの地方で同様の風が吹いても「木枯らし1号」の発表はありません。